

9月21日 認知症の日(世界アルツハイマーデー) 小林市での取り組み

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、認知症の理解促進を目的とした展示コーナーを設置しました。

展示会場の様子

小林市役所 本庁舎



須木庁舎



小林市立図書館



小林市地域包括支援センター



小林市西部地域包括支援センター



のじり地域包括支援センター
友愛会館(野尻)



オレンジの花プロジェクト

認知症の日(世界アルツハイマーデー)を含む期間を啓発期間として取り組む上で、令和5年度から「オレンジの花プロジェクト」を開始し、今年で3年目です。

認知症を支援するイメージカラー「オレンジ」の花を小林秀峰高等学校 農業科の生徒さんと育てる事で、目に触れた幅広い世代の方々が「認知症について深く考えるきっかけになってほしい」「認知症について家族と話すきっかけになってほしい」という願いを込めました。

花植え交流の様子

小規模多機能ホーム茶のん村・グループホームおんわのご利用者様
×小林秀峰高等学校 農業科の生徒さん



【生徒さんの感想】

この花は、認知症の人への理解と支え合いの心を込めて育てました。この花が希望の光となれば幸いです。

家族介護者の集い



介護されている方々の心身のストレス緩和と活力向上につなげていただけるように、介護者同士の意見交換や介護に関する情報提供などを行っています。
参加料無料、どなたでも参加できます。

集いの様子



経口補水液作り



アロマハンド体験



地区	場所	開催日	開催時間
小林地区	小林市地域包括支援センター	毎月第2土曜	13時30分～15時
野尻地区	友愛会館 機能訓練室	5月、7月、9月、11月 第3土曜	10時～12時

※8月のお盆等は日程変更の可能性あり
※イベント内容によって時間変更等あり

認知症サポーター養成講座

令和7年度は学校・サロン・企業等で開催しています。

小林市では、認知症サポーターが着々と増えてきています。昨年度は目標とする15,000人を突破しました。今後も認知症の理解を深め、認知症になっても安心できる地域を目指していきます！

認知症サポーター数 15,225名(R7年10月現在)



かずばあによる
講話でした

かずばあ【小倉和也さん：和(なごみ)福祉サービス代表】

◆小林秀峰高等学校 福祉科1年生の感想◆

・実際に認知症の人によくある事例の対応の仕方がすごく勉強になりました。

本人の言っている事を拒まない、否定しないという事が大切だと分かりました。

・私の祖母も最近認知症になり、どのように接していけば良いのか分からなかったけど、今回の講座でこれからどのようにしていけばいいのか理解する事が出来ました。また、実演もあってとても分かりやすく良かったです。

【問い合わせ先】

小林市地域包括支援センター： 25-0707

小林市西部地域包括支援センター： 27-2552

のじり地域包括支援センター： 44-2271

